



Cisco Unity Connection 8.5 以降のサーバにおける IPv6 アドレスの追加または変更

この章は、次の項で構成されています。

- 「[Connection 8.5 以降における IPv6 の有効化と IPv6 アドレスの追加](#)」 (P.12-1)
- 「[IPv6 アドレスの変更 \(Cisco Unity Connection 8.5 以降\)](#)」 (P.12-4)

Connection 8.5 以降における IPv6 の有効化と IPv6 アドレスの追加

Cisco Unity Connection 8.5 以降では、SCCP または SIP を使用した Internet Protocol Version 6 (IPv6; インターネットプロトコルバージョン 6) を有効化し、Cisco Unified Communications Manager 電話システム連動に使用することができます。IPv6 はデフォルトでは無効です。Cisco Unified CM 連動に IPv6 を導入する場合は、次の考慮事項に注意してください。

- IPv6 は、Cisco Unified CM Release 7.1(2) 以降でサポートされます。
- Connection と Cisco Unified CM 間の SCCP 連動用セキュリティ機能（認証および暗号化）に必要な CTL ファイルは、IPv4 アドレッシングを使用します。このため、SCCP セキュア ポートの認証および暗号化を使用するには、Connection のポート グループ内の Cisco Unified CM サーバに対して IPv4 のアドレスかホスト名を保持する必要があります。
- Cisco Adaptive Security Appliance (ASA; 適応型セキュリティ アプライアンス) の一部のバージョンは、ユニファイド コミュニケーション アプリケーション サーバおよびエンドポイントの IPv6 トラフィックに対するアプリケーション 検査をサポートしていません。このサポートを提供していない Cisco ASA を使用している場合は、ユニファイド コミュニケーションに IPv6 を使用しないことを推奨します。使用している配置で、アプリケーション 検査がサポートされているかどうかを判断するには、資料で Cisco ASA のバージョンを参照してください。

Connection サーバが SCCP または SIP を使用してすでに Cisco Unified CM と連動している場合、IPv6 を有効化し、サーバの IPv6 アドレスを設定するには、次のタスク リストを使用します（サーバがまだ Cisco Unified CM と連動していない場合、手順については該当するインテグレーション ガイドを参照してください）。

**注意**

業務時間内に IPv6 を有効化しないでください。変更内容を有効にするには、サーバを再起動する必要があります。

1. Cisco Unified Operating System Administration で IPv6 を有効化して設定します。『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/os_administration/guide/8xcucosagx.html) の「Settings」の章の「IP Settings」を参照してください。
2. IPv6 対応の Cisco Unified CM 電話システムをまだ設定していない場合: 使用しているリリースの Cisco Unified CM の『Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide』の「Internet Protocol Version 6」の章の「Configuration Checklist for IPv6」セクションの手順に従ってください。このガイドは、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicew/ps556/prod_maintenance_guides_list.html から入手できます。
3. Connection サーバが、SIP を使用して Cisco Unified CM と連動している場合: SIP トランクに IPv6 宛先アドレスを設定し、トランクをリセットします。「Cisco Unified Communications Manager SIP トランクへの Cisco Unity Connection IPv6 宛先アドレスの設定」(P.12-2) の手順を参照してください。
4. Cisco Unified CM 連動用の、IPv6 アドレスおよびアドレッシングモードを設定します。「Cisco Unity Connection Administration における Cisco Unified Communications Manager 電話システム連動のための IPv6 アドレスおよびアドレッシングモードの設定」(P.12-2) の手順を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager SIP トランクへの Cisco Unity Connection IPv6 宛先アドレスの設定

- ステップ 1 Cisco Unified CM Administration にログインします。
- ステップ 2 [デバイス (Device)] メニューで、[トランク (Trunk)] を選択します。
- ステップ 3 Connection サーバに対応するトランクを見つけ、トランクの名前を選択します。
- ステップ 4 [トランクの設定 (Trunk Configuration)] ページで、[接続先アドレス IPv6 (Destination Address IPv6)] フィールドの値を新しい IPv6 アドレスに変更します。
- ステップ 5 [保存 (Save)] を選択し、変更を保存します。
- ステップ 6 [リセット (Reset)] を選択してトランクをリセットします。

Cisco Unity Connection Administration における Cisco Unified Communications Manager 電話システム連動のための IPv6 アドレスおよびアドレッシングモードの設定

- ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration にログインします。
- ステップ 2 [システム設定 (System Settings)] を展開し、[全般的な設定 (General Configuration)] を選択します。
- ステップ 3 [全般的な設定の編集 (Edit General Configuration)] ページの [アドレッシングモード (Addressing Mode)] で、Connection が着信トラフィックをリッスンする方法を制御するオプションをリストから選択します。
 - IPv4
 - IPv6
 - IPv4 と IPv6

ステップ 4 [保存 (Save)] を選択します。

ステップ 5 オプションで、Connection サーバが IPv6 アドレスまたはホスト名を使用して Cisco Unified Communications Manager サーバと通信できるようにするには、次のサブステップを実行します。

- a. [テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開して、[ポート グループ (Port Group)] を選択します。
- b. [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、変更したいポート グループの表示名を選択します。



(注) 検索結果の表に、変更したいポート グループの名前が表示されない場合は、そのページの上部にある検索フィールドに該当するパラメータを入力し、[検索 (Find)] を選択します。

- c. [ポート グループの基本設定 (Port Group Basics)] ページの [編集 (Edit)] メニューで、[サーバ (Servers)] を選択します。
- d. [サーバの編集 (Edit Servers)] ページの [Cisco Unified Communications Manager サーバ (Cisco Unified Communications Manager Servers)] テーブルで、ポート グループが接続する各 Cisco Unified CM サーバの [IP アドレス (IP Address)] または [ホスト名 (Host Name)] に値を入力します。TFTP サーバの表にも同じ作業を繰り返します。



注意 SCCP セキュア ポートを使用した認証および暗号化を使用している場合は、各 Cisco Unified CM サーバおよび TFTP サーバに IPv4 アドレスまたはホスト名を維持する必要があります。

- e. [保存 (Save)] を選択します。
- f. IPv6 アドレスまたはホスト名を設定したいその他のポート グループに対して、サブステップ a. ~ e. を繰り返します。

ステップ 6 **ステップ 3** で IPv4 と IPv6 オプションを選択した場合は、次のサブステップを実行し、Cisco Unified CM 連動のコール制御シグナリングおよびメディア アドレッシング モードを設定します。

- a. [テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開して、[ポート グループ (Port Group)] を選択します。
- b. [ポートグループの検索 (Search Port Groups)] ページで、変更したいポート グループの表示名を選択します。



(注) 検索結果の表に、変更したいポート グループの名前が表示されない場合は、そのページの上部にある検索フィールドに該当するパラメータを入力し、[検索 (Find)] を選択します。

- c. [ポート グループの基本設定 (Port Group Basics)] ページの [編集 (Edit)] メニューで、[サーバ (Servers)] を選択します。
- d. [アドレッシング モード (Addressing Mode)] セクションで、該当する設定に対し IPv4 オプション、または IPv6 オプションを選択します。
 - シグナリングの設定 (SCCP 連動および SIP 連動向け) : この設定は、SCCP を使用して Cisco Unified CM を登録したり、SIP 要求を発信したりする場合の、コール制御シグナリングの設定を決定します。
 - メディアの設定 (SIP 連動のみ) : この設定は、デュアルスタック (IPv4 と IPv6) デバイスと通信する場合のメディア イベントに対し、優先されるアドレッシング モードを設定します。
- e. [保存 (Save)] を選択します。

IPv6 アドレスの変更 (Cisco Unity Connection 8.5 以降)

Cisco Unity Connection 8.5 以降では、SCCP または SIP を使用して IPv6 を Cisco Unified Communications Manager 電話システム連動と併用するように設定できます。IPv6 アドレッシングは、クラスタ内のサーバ間または Cisco Voicemail Organization 内のロケーション間では使用されないため、サーバがクラスタの一部であるかどうか、または他のサーバにネットワーク接続されているかどうかにかかわらず、次の手順を使用してあらゆる Connection サーバの IP アドレスを変更できます。

IPv6 がすでに有効化および設定されている Connection サーバの IPv6 アドレスを変更するには、次の手順を実行します。



注意

Connection サーバの IPv6 アドレスは、業務時間内に変更しないでください。変更内容を有効にするには、サーバを再起動する必要があります。

Cisco Unity Connection サーバの IPv6 アドレスの変更 (Connection 8.5 以降)

- ステップ 1** Real-Time Monitoring Tool (RTMT) で、サーバが稼動していて利用できることを確認します。
- RTMT を使用してサーバにログインします。
 - 左側のペインにある [Tools] で [Alert Central] を選択します。
 - 右側のペインにある [System] タブで [ServerDown] が黒の場合、[ステップ 2](#) に進みます。
[ServerDown] が赤の場合、[ServerDown] を右クリックして [Alert Details] を選択します。問題を解決してから作業を続けます。
- ステップ 2** Cisco Unified Serviceability にログインしてサーバのステータスを確認します。
- [Tools] メニューから [Cluster Management] を選択します。
 - [Server Status] カラムで現在のサーバの値が [Primary] であることを確認します。[Server Status] カラムが別の値の場合、問題を解決してから作業を続けます。
- ステップ 3** 次の CLI コマンドを実行して、ネットワーク接続と DNS サーバの設定を確認します。
- ```
admin: utils diagnose module validate_network
Log file: /var/log/active/platform/log/diag1.log
```
- ```
Starting diagnostic test(s)
=====
test - validate_network : Passed
```
- ```
Diagnostics Completed
admin:
```
- ステップ 4** Disaster Recovery System を使用してサーバのバックアップを行います。『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/drs\\_administration/guide/8xcucdrs\\_ag.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/drs_administration/guide/8xcucdrs_ag.html)) を参照してください。
- ステップ 5** DNS サーバでサーバの DNS レコードを新しい IPv6 アドレスに変更します。正引き用 (AAAA) と逆引き用 (PTR) のレコードを両方とも更新します。

- ステップ 6** サーバの IPv6 アドレスを変更します。
- Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
  - [設定 (Settings)] メニューから [IP] > [イーサネット IPv6 (Ethernet IPv6)] を選択します。
  - [アドレス ソース (Address Source)] で、ルータ アドバタイズメントまたは DHCP が選択されている場合は、[手動入力 (Manual Entry)] を選択してスタティック非リンクローカル IPv6 アドレスを変更し、サブステップ d. に進みます。または、ルータか DHCPv6 サーバの割り当てられた IPv6 プレフィクスまたはアドレスを変更して、サブステップ e. に進みます。



(注) Connection サーバに、スタティック非リンクローカル IPv6 アドレスを手動で設定することを推奨します。

- [アドレス ソース (Address Source)] で、[IPv6 アドレス (IPv6 Address)] フィールドの値を変更し、必要に応じて [サブネット マスク] フィールドも変更します。
  - [レポートを使用した更新 (Update with Reboot)] チェック ボックスにチェック マークを入れます。
  - [保存 (Save)] を選択すると、システムが再起動します。
- ステップ 7** RTMT で、サーバが稼動していて利用できることを確認します。
- RTMT を使用してサーバにログインします。
  - 左側のペインにある [Tools] で [Alert Central] を選択します。
  - 右側のペインにある [System] タブで [ServerDown] が黒の場合、**ステップ 8** に進みます。  
[ServerDown] が赤の場合、[ServerDown] を右クリックして [Alert Details] を選択します。問題を解決してから作業を続けます。
- ステップ 8** Disaster Recovery System を使用してサーバのバックアップを行います。『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/drs\\_administration/guide/8xcucdrs\\_ag.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/drs_administration/guide/8xcucdrs_ag.html)) を参照してください。
- ステップ 9** Connection サーバが、SIP を使用して Cisco Unified Communications Manager と連動している場合：Cisco Unified Communications Manager Administration における SIP トランク上の Cisco Unity Connection サーバの IPv6 アドレスを更新します。
- Cisco Unified CM Administration にログインします。
  - [デバイス (Device)] メニューで、[トランク (Trunk)] を選択します。
  - Connection サーバに対応するトランクを見つけ、トランクの名前を選択します。
  - [トランクの設定 (Trunk Configuration)] ページで、[接続先アドレス IPv6 (Destination Address IPv6)] フィールドの値を新しい IPv6 アドレスに変更します。
  - [保存 (Save)] を選択し、変更を保存します。
  - [リセット (Reset)] を選択してトランクをリセットします。

■ IPv6 アドレスの変更 (Cisco Unity Connection 8.5 以降)